

# 競技運営に関する申し合わせ事項（二部）

2021(令和3年) 2月  
北九州市軟式野球連盟

本大会は、2021（令和3）年度野球規則及び競技者必携のほか、下記の申し合わせ事項により実施します。  
よって、この申し合わせ事項は監督・主将会議等で説明・確認するので、自チーム全員（監督・コーチ・選手・マネージャー等）に徹底します。

- 雨天の場合などの試合開催可否の決定は、当日7：00とします。
- ダッグアウトは、組み合わせ表の若い方を一塁側とします。
- 競技に参加するチームは、試合開始予定時刻60分前までに球場に参集するとともに、代表者はオーダー表を大会本部に受け取りに来ます。また、オーダー表（5部）はできる限り速やかに記入して提出します。
  - 第二試合以降のチームは、前の試合の5回終了時まで、オーダー表（5部）をできる限り速やかに提出します。
  - オーダー表には登録選手のうち、当日参加する選手のフリガナを含めて全員記入します。（未記入の者は試合に出ることはできません）
- 練習やシートノックなどの場面でもグラウンド内では必ずユニフォームを着用します。  
（特に寒い日を除き、ベンチから出るときは必ずユニフォームになります。）  
※ ユニフォームのズボンの裾は膝下まで上げること。（九州地区軟式野球連合決定事項）
- 試合と延長戦などについて
  - 7回戦90分制とします。但し、原則として決勝戦は時間制を適用しません。
  - 7回終了、又は90分経過時に同点の場合、下表の要領で延長戦を行って勝敗を決します。

段 階	延 長 戦 の 方 法	勝 敗 の 決 定 法
決勝戦まで	次の回より、タイブレーク方式（無死1・2塁、打者継続）で攻撃を開始する。	イニングごとに得点の多いチームを勝者とする。
決勝戦	8回より、通常の攻撃で延長戦を開始する。 また、9回終了時に同点の場合、タイブレーク方式（無死1・2塁、打者継続）で攻撃を開始する。	イニングごとに得点の多いチームを勝者とする。

- 5回以降7点差以上がついた場合、コールドゲームとします。ただし、決勝戦は原則として適用しません。
  - 試合の中断、サスペンデッドゲームなどは、日没・雨天・時間等により大会本部の判断で変更できます。
  - 雷発生時、審判員はゲームを直ちに中断して選手全員をベンチなどに避難させます。
- 試合中は、監督・選手・コーチ等ベンチ入りしている者の次の行為は厳禁です。
  - ベンチ内外を問わず喫煙したりガムを噛んだりすること
  - 携帯電話などの電子機器を使用すること
  - 好ましくないヤジや相手選手の集中を妨げる声を出すこと
  - 相手選手や審判員に対して個人攻撃となる言動をすること
  - スパイクのひもを結びなおすためにタイムを要求すること（ベンチで結び直す）
  - 抗議権のない者（監督・主将・当該選手以外）が複数で抗議や質問をすること
  - 攻守交代時以外に、控え選手がグラウンド内で素振りやウォーミングアップを行うこと。
- 試合中の守備側の遵守事項
  - 選手は自分の守備位置までできるだけ早く駆け足で行きます。
  - 捕手が打者や走者となった直後に守備につく際、用具はベンチ前で装着します。ベンチ内で座って装着しません。また、控え選手は用具の装着に協力します。
  - 試合開始時やイニング開始前、及び、投手交代時の投球練習は8球（または1分以内）とし、それ以後は4球以内とします。  
※ 次の打者は投球練習中はネクストバッタースボックスで待機し、球審のワンモアピッチでダートサークルへ移動する。
  - 走者なしで、アウトをとった際の内野手のボール回しは1周以内とし、内野手は定位置付近で転送します。
  - 攻守交替の際、攻撃に移るチームはボールをプレート付近に置いて、自チームのベンチに戻ります。投げたり、転がしたりしません。
- 試合中の攻撃側の遵守事項
  - 打者・ベースコーチは必ずヘルメットを着用します。
  - 次打者は次打者席で待ち、投手が投球動作に入ったら素振りをしません

## 9. 試合終了後の遵守事項

- ① グランド整備は両チームで行うとともに、会場美化に協力します。特に、自チームが出したごみは自チームで持ち帰ります。
- ② グランド整備とともにブルベンの整備を行います。
- ③ 当該会場最終試合の両チームは自チームのベンチ内の土を掃き出す等の清掃を行います。

## 10. その他

### ※ 時間制ありの場合

- ・ 12秒ルールを適用します（走者なしの場合）

投手は捕手からボールを受けたら12秒以内で投球しなければなりません。違反するとボールカウントとなります。

（ただし、打者がバッターボックス内で打撃姿勢をとっていることを前提とする。）

- ・ 20秒ルールは適用しません（走者ありの場合）

投手は捕手からボールを受けたら（牽制後に野手からボールを受けたら）20秒以内で投球しなければなりません。

違反すると3回目からボールカウントとなります。

### ※ 時間制なしの場合（決勝戦等）

- ・ 12秒／20秒ルール共適用します

# 競技運営に関する申し合わせ事項（二部）

2022(令和4年)2月  
北九州市軟式野球連盟

本大会は、2022(令和4)年度野球規則及び競技者必携のほか、下記の申し合わせ事項により実施します。  
この申し合わせは監督・主将会議等で説明・確認し、自チーム全員（監督・コーチ・選手・マネージャー等）に徹底します。

- 雨天の場合などの試合開催可否の決定は、当日 7:00 とします。
- ダッグアウトは、組み合わせ表の若い方を一塁側とします。
- 参加チームは、試合開始予定時刻60分前までに球場に参集するとともに、代表者はオーダー表を大会本部に取りに来ます。また、オーダー表(5部)は可及的速やかに記入して提出します。
  - 第二試合以降のチームは、前試合の5回終了時迄に、オーダー表(5部)を可及的速やかに提出します。
  - オーダー表には当日参加する登録選手の氏名をフリガナを含め全員記入します。(未記入場合出場不可。)
- 練習やシートノックなどの場面でもグラウンド内では必ずユニフォームを着用します。  
(特に寒い日を除き、ベンチから出るときは必ずユニフォームになります。)  
※ ユニフォームのズボンの裾は膝下まで上げること。(九州地区軟式野球連合決定事項)

## 5. 試合と延長戦などについて

- 7回戦90分制とします。但し、原則として決勝戦は時間制を適用しません。
- 7回終了、又は90分経過時に同点の場合、下表の要領で延長戦を行って勝敗を決します。

試合	延長戦の方法	勝敗の決定法
決勝戦まで	次の回より、タイブレーク方式（無死1・2塁、打者継続）で攻撃を開始する。	イニングごとに得点の多いチームを勝者とする。
決勝戦	8回より、通常の攻撃で延長戦を開始する。 また、9回終了時に同点の場合、タイブレーク方式（無死1・2塁、打者継続）で攻撃を開始する。	イニングごとに得点の多いチームを勝者とする。

- 5回以降7点差以上がついた場合、コールドゲームとします。ただし、決勝戦は原則として適用しません。
- 試合の中断、サスペンデッドゲームなどは、日没・雨天・時間等により大会本部の判断で変更できます。
- 雷発生時、審判員はゲームを直ちに中断して選手全員をベンチなどに避難させます。

## 6. 試合中は、監督・選手・コーチ等ベンチ入りしている者の次の行為は厳禁です。

- ベンチ内外を問わず喫煙したりガムを噛んだりすること
- 携帯電話などの電子機器を使用すること
- 好ましくないヤジや相手選手の集中を妨げる声を出すこと
- 相手選手や審判員に対して個人攻撃となる言動をすること
- スパイクのひもを結びなおすためにタイムを要求すること（ベンチで結び直す）
- 抗議権のない者（監督・主将・当該選手以外）が複数で抗議や質問をすること
- 攻守交代時以外に、控え選手がグラウンド内で素振りやウォーミングアップを行うこと。

## 7. 試合中の守備側の遵守事項

- 選手は自分の守備位置までできるだけ早く駆け足で行きます。
- 捕手が打者や走者となった直後に守備につく際、用具はベンチ前で装着します。  
ベンチ内で座って装着しません。また、控え選手は用具の装着に協力します。
- 試合開始時や攻守交替時、及び、投手交代時の投球練習は8球(または1分以内)とし、それ以後は4球以内とします。

※ 次打者は投球練習中は次打者席で待機し、球審のワンモアピッチでダートサークル横へ移動する。

- 走者なしで、アウトをとった際の内野手のボール回しは1周以内とし、内野手は定位置付近で転送します。
- 攻守交替時、ベンチに戻るチームは、ボールをプレート付近に置いて戻ります。投げたり、転がしたりしません。

## 8. 試合中の攻撃側の遵守事項

- 打者・ベースコーチは必ずヘルメットを着用します。
- 次打者は次打者席で待ち、投手が投球動作に入ったら素振りをしません

## 9. 試合終了後の遵守事項

- グラウンド整備は両チームで行い、会場美化に努めます。特に、自チームのゴミは自チームで持ち帰ります。
- グラウンド整備とともにブルペンの整備を行います。
- 当該会場最終試合の両チームは自チームのベンチ内の土を掃き出す等の清掃を行います。

## 10 その他（12秒ルール、20秒ルールは打者がバッターボックス内で打撃姿勢をとっていることを前提とする。）

- 試合時間制ありの場合；12秒ルールのみ適用します。20秒ルールは適用しません。
  - 12秒ルール（走者なしの場合）  
投手は捕手からボールを受けて12秒以内に投球します。違反するとボールがカウントされます。
  - 20秒ルール（走者ありの場合）  
投手は捕手からボールを受けたら(牽制後は野手からボールを受けたら)20秒以内に投球します。  
違反すると注意を受け、3回目からボールがカウントされます。
- 試合時間制限なし（決勝戦等）の場合；12秒ルール、20秒ルールともに適用します。